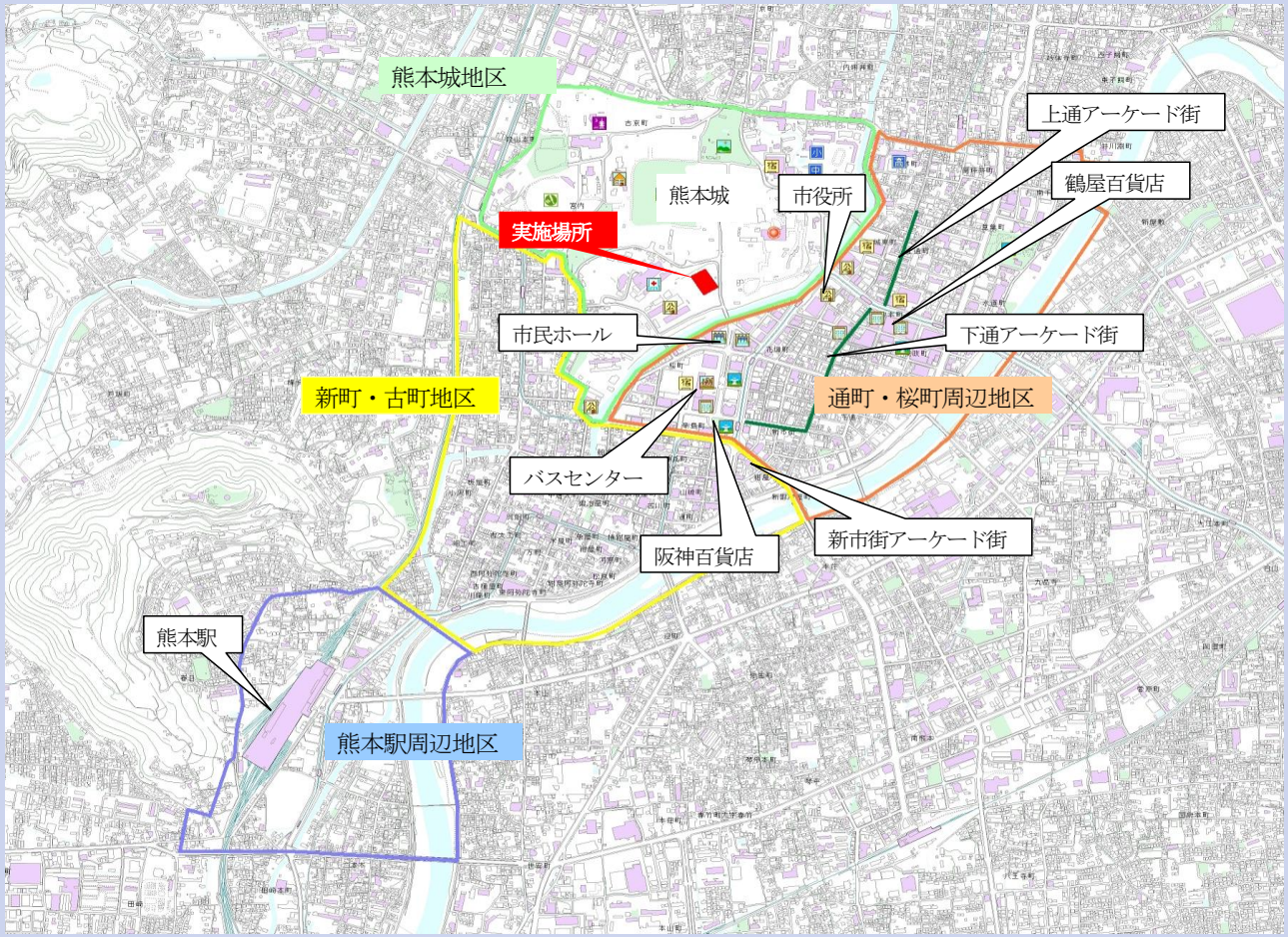
熊本城桜の馬場飲食物販施設

熊本城桜の馬場リテール株式会社

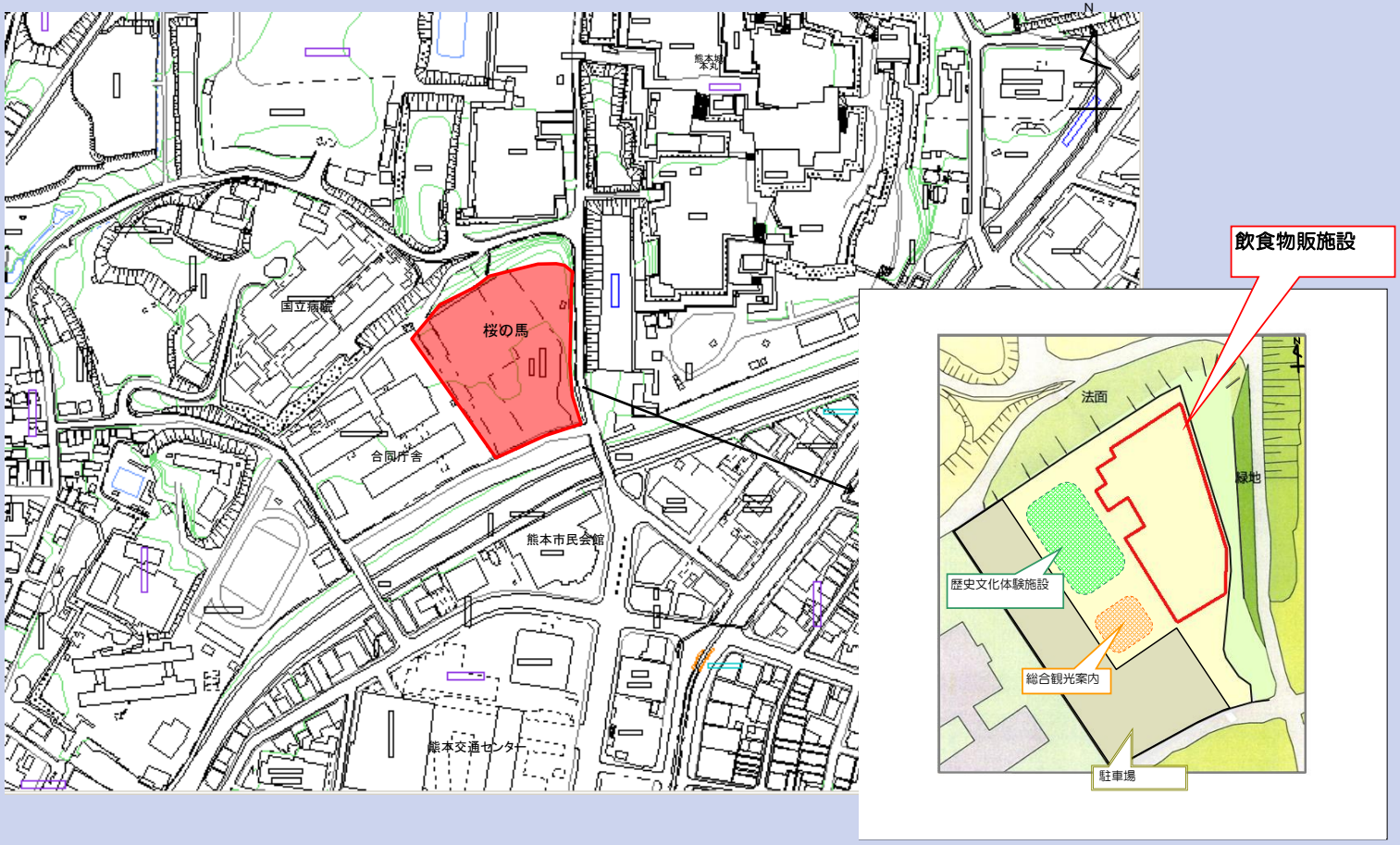
位置図

（位置図）


熊本城地区
熊本城
市役所
実施場所
上通アーケード街
鶴屋百貨店
市民ホール
下通アーケード街
新町・古町地区
通町・桜町周辺地区
バスセンター
新市街アーケード街
阪神百貨店
熊本駅
熊本駅周辺地区

周辺図

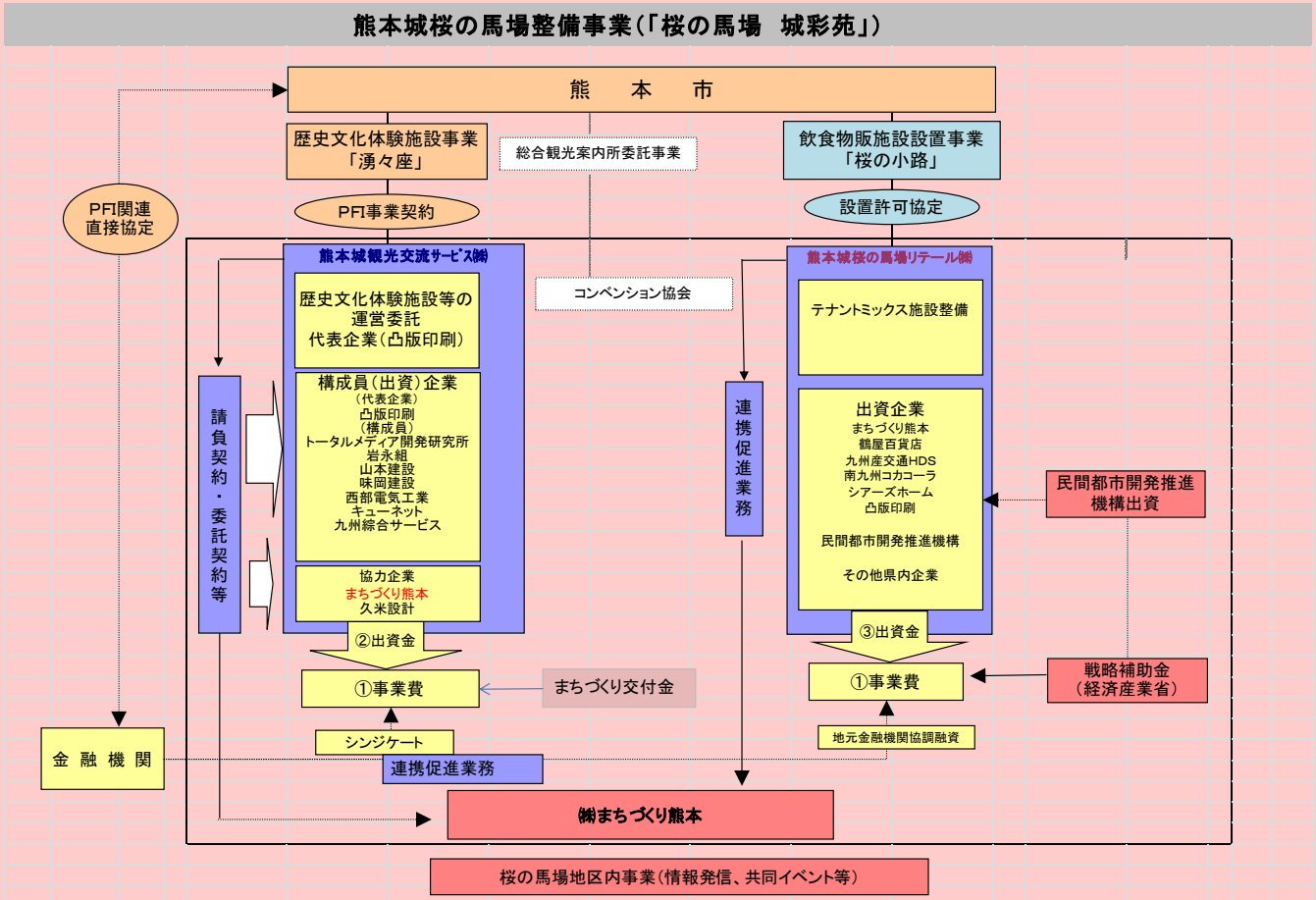
（周辺図）


国立病院
桜の馬
合同庁舎
熊本市民会館
熊本交通センター
飲食物販施設
法面
緑地
歴史文化体験施設
総合観光案内
駐車場

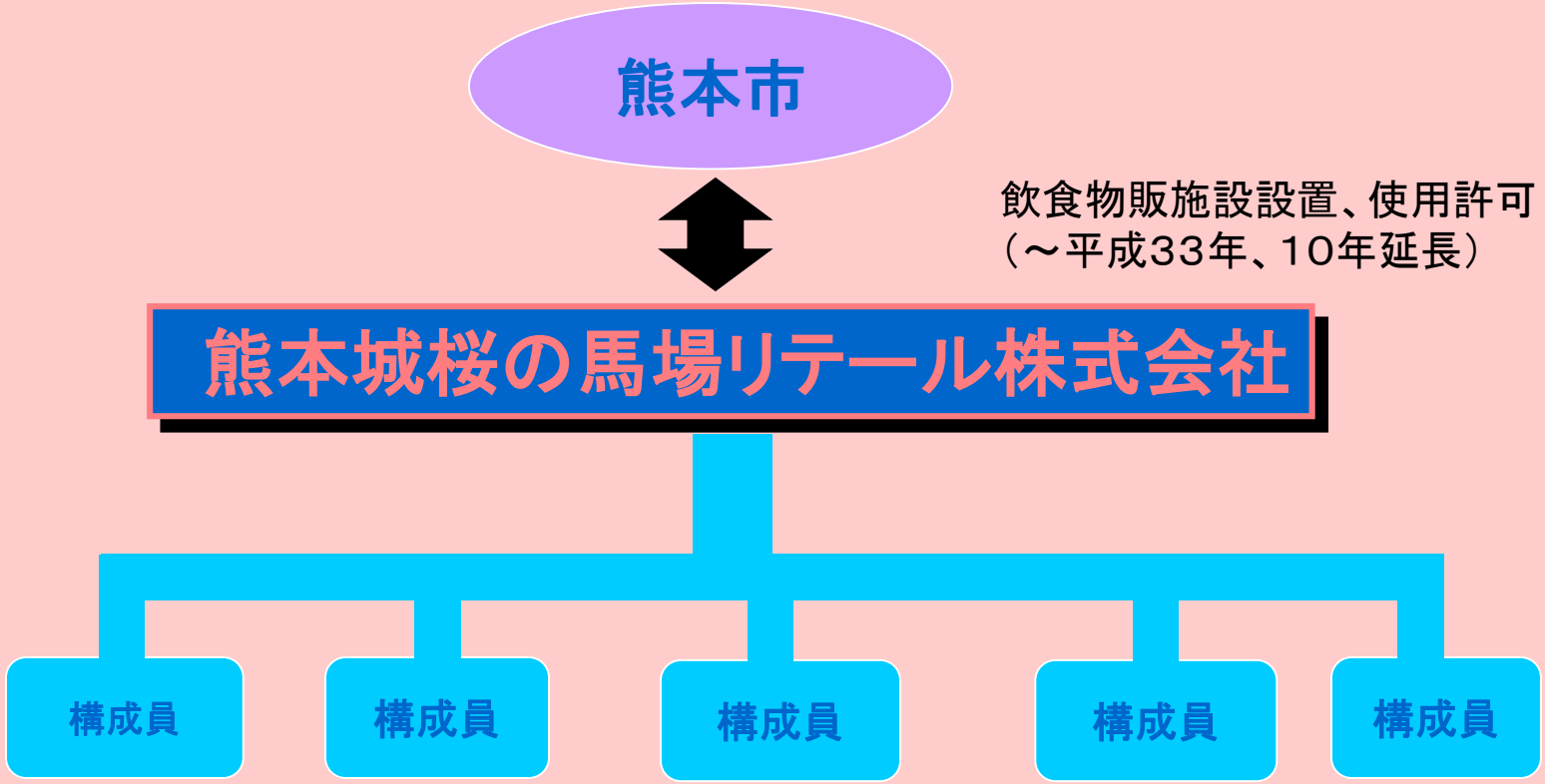
熊本城周辺図

天守閣
宇土櫓
本丸御殿
頬当御門
西大手門
南大手門
二の丸駐車場
備前堀
行幸坂
櫨方門
長塀
市役所
坪井川
行幸橋
桜の馬場
城彩苑
合同庁舎

全体スキーム


熊本城桜の馬場整備事業(「桜の馬場　城彩苑」)
熊　本　市
歴史文化体験施設事業
「湧々座」
総合観光案内所委託事業
飲食物販施設設置事業
「桜の小路」
PFI関連
直接協定
PFI事業契約
設置許可協定
熊本城観光交流サービス㈱
歴史文化体験施設等の
運営委託
代表企業(凸版印刷)
構成員(出資)企業
(代表企業)
凸版印刷
(構成員)
トータルメディア開発研究所
岩永組
山本建設
味岡建設
西部電気工業
キューネット
九州綜合サービス
協力企業
まちづくり熊本
久米設計
請負契約・委託契約等
コンベンション協会
熊本城桜の馬場リテール㈱
テナントミックス施設整備
出資企業
まちづくり熊本
鶴屋百貨店
九州産交通HDS
南九州コカコーラ
シアーズホーム
凸版印刷
民間都市開発推進機構
その他県内企業
連携促進業務
民間都市開発推進
機構出資
②出資金
③出資金
①事業費
まちづくり交付金
①事業費
戦略補助金
(経済産業省)
シンジケート
地元金融機関協調融資
金　融　機　関
連携促進業務
㈱まちづくり熊本
桜の馬場地区内事業(情報発信、共同イベント等)

組織スキーム



※敷地は、公園（熊本市所有）

施設概要

■飲食物販施設エリア　：　　3,964㎡

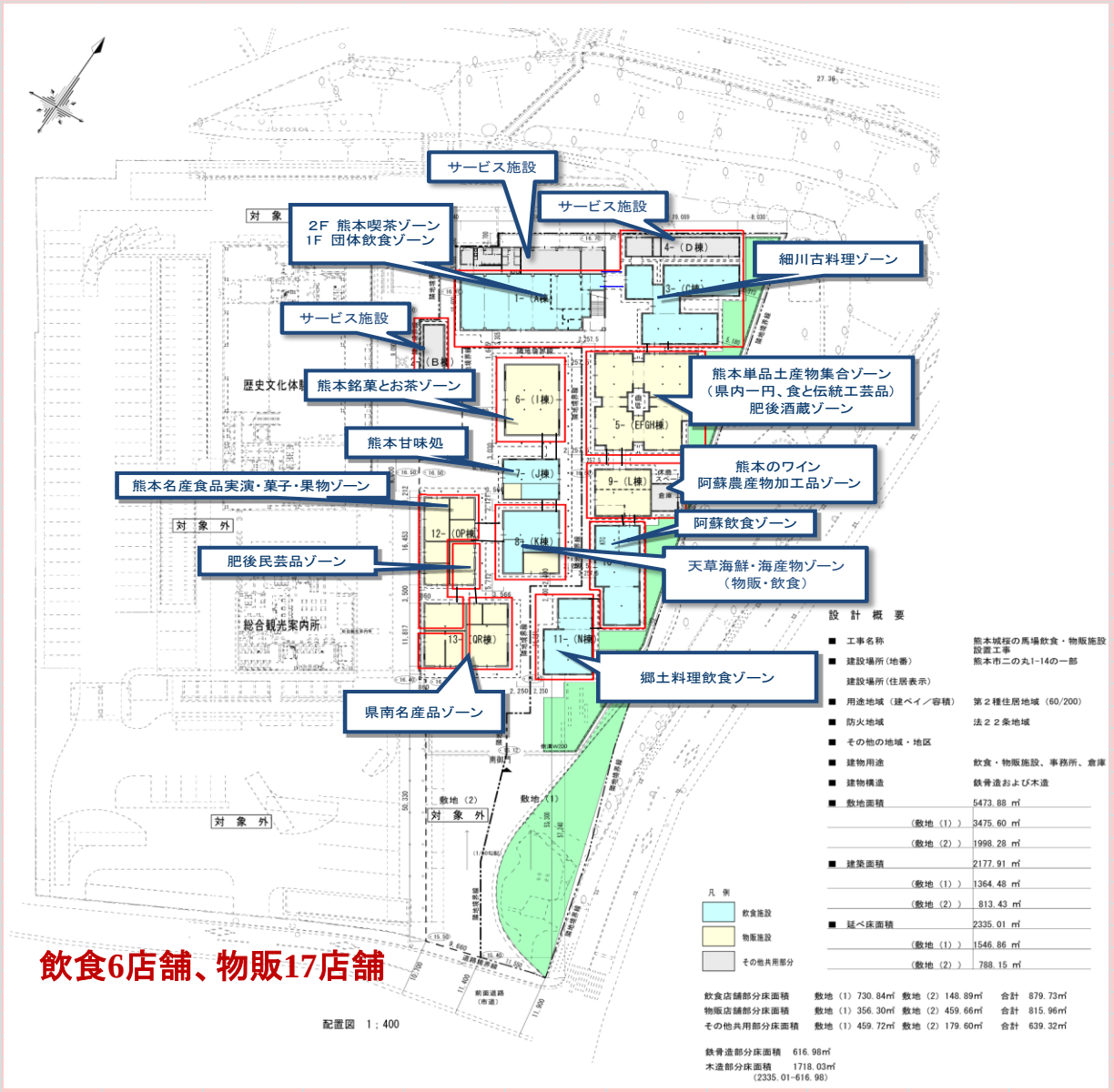
＜歴史文化体験施設・総合観光案内所・多目的交流施設）は合計1，500㎡＞

■飲食物販施設（延床面積）　：2,331㎡

■駐車場

・車両57台
・車椅子用駐車場3台
・大型バイク駐輪場50台
・原付自転車駐輪場50台
・駐輪場50台

配置図


サービス施設
サービス施設
2F 熊本喫茶ゾーン
1F 団体飲食ゾーン
細川古料理ゾーン
サービス施設
熊本銘菓とお茶ゾーン
熊本単品土産物集合ゾーン
（県内一円、食と伝統工芸品）
肥後酒蔵ゾーン
熊本甘味処
熊本のワイン
阿蘇農産物加工品ゾーン
熊本名産食品実演・菓子・果物ゾーン
阿蘇飲食ゾーン
肥後民芸品ゾーン
天草海鮮・海産物ゾーン
（物販・飲食）
郷土料理飲食ゾーン
県南名産品ゾーン
対 象
対 象 外
歴史文化体験
総合観光案内所
敷地（1）
敷地（2）
飲食6店舗、物販17店舗
配置図 1：400
設 計 概 要
工事名称 熊本城桜の馬場飲食・物販施設設置工事
建設場所（地番） 熊本市二の丸1-14の一部
建設場所（住居表示）
用途地域（建ぺい／容積） 第２種住居地域（60/200）
防火地域 法２２条地域
その他の地域・地区
建物用途 飲食・物販施設、事務所、倉庫
建物構造 鉄骨造および木造
敷地面積 5473.88㎡
（敷地（1）） 3475.60㎡
（敷地（2）） 1998.28㎡
建築面積 2177.91㎡
（敷地（1）） 1364.48㎡
（敷地（2）） 813.43㎡
延べ床面積 2335.01㎡
（敷地（1）） 1546.86㎡
（敷地（2）） 788.15㎡
凡例
飲食施設
物販施設
その他共用部分
飲食店舗部分床面積 敷地（1）730.84㎡ 敷地（2）148.89㎡ 合計 879.73㎡
物販店舗部分床面積 敷地（1）356.30㎡ 敷地（2）459.66㎡ 合計 815.96㎡
その他共用部分床面積 敷地（1）459.72㎡ 敷地（2）179.60㎡ 合計 639.32㎡
鉄骨造部分床面積 616.98㎡
木造部分床面積 1718.03㎡
（2335.01−616.98）

桜の小路 風景

背景・経緯

施設整備事業

・これまでの市の調査等により、熊本城観光において城内における飲食物販施設の不足が明確であること。

・熊本城観光客は、天守閣等の観覧後は市街地で過ごすことなく次の目的地へ移動する観光形態であること。

活性化事業

①熊本城は都市の中央に位置し多数の観光客を集客する文化遺産であるが、その集客力が中心市街地の活性化に波及していないこと。

②中心市街地において従前に実施された通行量調査では人の流れが必ずしも明確でなく、行動の活性化を図る方策が講じられていないこと。

目的

施設整備事業

・熊本城観光客へのサービス向上

・本施設を起点とした中心市街地回遊の促進

・中心市街地での滞在時間の拡大による商業の振興及び消費活動の活発化

・宿泊客の増大等に伴う新事業の創出

活性化事業

①最近の観光客の行動形態の明確化

・熊本城観光の拡大

・中心市街地との連携方策の明確化

②人の流れと行動の阻害要因の明確化

・回遊性向上に向けた解決策を見出し、熊本城と中心市街地の融合を図る

コンセプト

●施設コンセプト

「熊本の質の高い食文化とものづくり文化の集積」

●事業コンセプト

「地域経済の振興および地域全体の活性化」

・熊本ブランドの確立

・情報発信機能の強化⇒国際的観光都市の創造の促進

・熊本城観光客へのサービス向上⇒消費活動の活発化

・滞留時間拡大による宿泊客の増大⇒新事業の創出

震災後

熊本城の被害総額は約560億円と試算（熊本市6.17試算）

1.石垣（総表面積約7万9千㎡）の被害額約 350億円

A. 完全に崩れ落ちたのは53カ所8千㎡ 以上

B. 元の位置からせり出した状態の石等全体の3割 約2万3500㎡分を積み直す必要

2. 熊本城の天守閣、本丸御殿、飯田丸五階櫓の復元建造物等の被害額は、約210億円

天守閣付近の石垣

頬当て御門付近の石垣

熊本城特別公開